



Amazon EKS Anywhere

AWS Black Belt Online Seminar

林政利

Specialist Solutions Architect, Containers

2021/09



このセッションで扱うこと・学べること

- Amazon EKS Anywhere とは
- EKS Anywhere のアーキテクチャ
- EKS Anywhere でのクラスター管理
- EKS Anywhere の料金



Amazon Elastic Kubernetes Service (EKS)



セキュリティ
ファースト



プロダクション
レディ



ネイティブかつ
アップストリーム



クラウドとの
シームレスな統合



オープンソースへの
コミット

Amazon EKS をオンプレミスで動かすための現在の選択肢

On-premises

Cloud

Amazon EKS
AWS Outposts

Amazon EKS
Amazon EC2

Amazon EKS
AWS Fargate



Control Plane



Compute



Data Plane

Customer

Customer



Support



Fully Managed



お客様が直面する課題



既存の投資の活用



ガバナンス



データの保存先や
統制上の要件

AWS の外で Kubernetes を実行



EKS Distro

EKS で運用されているものと同じバージョン、パッチ、セキュリティを提供する Kubernetes のディストリビューション

<https://github.com/aws/eks-distro>



EKS Anywhere

EKS Distro でのクラスター作成、ライフサイクル管理を提供するマネジメントツール群

<https://github.com/aws/eks-anywhere>

想定されるユースケース



既存の投資の活用



ガバナンス



データの保存先や
統制上の要件



オンプレミスとクラウド
をまたいだKubernetes
運用

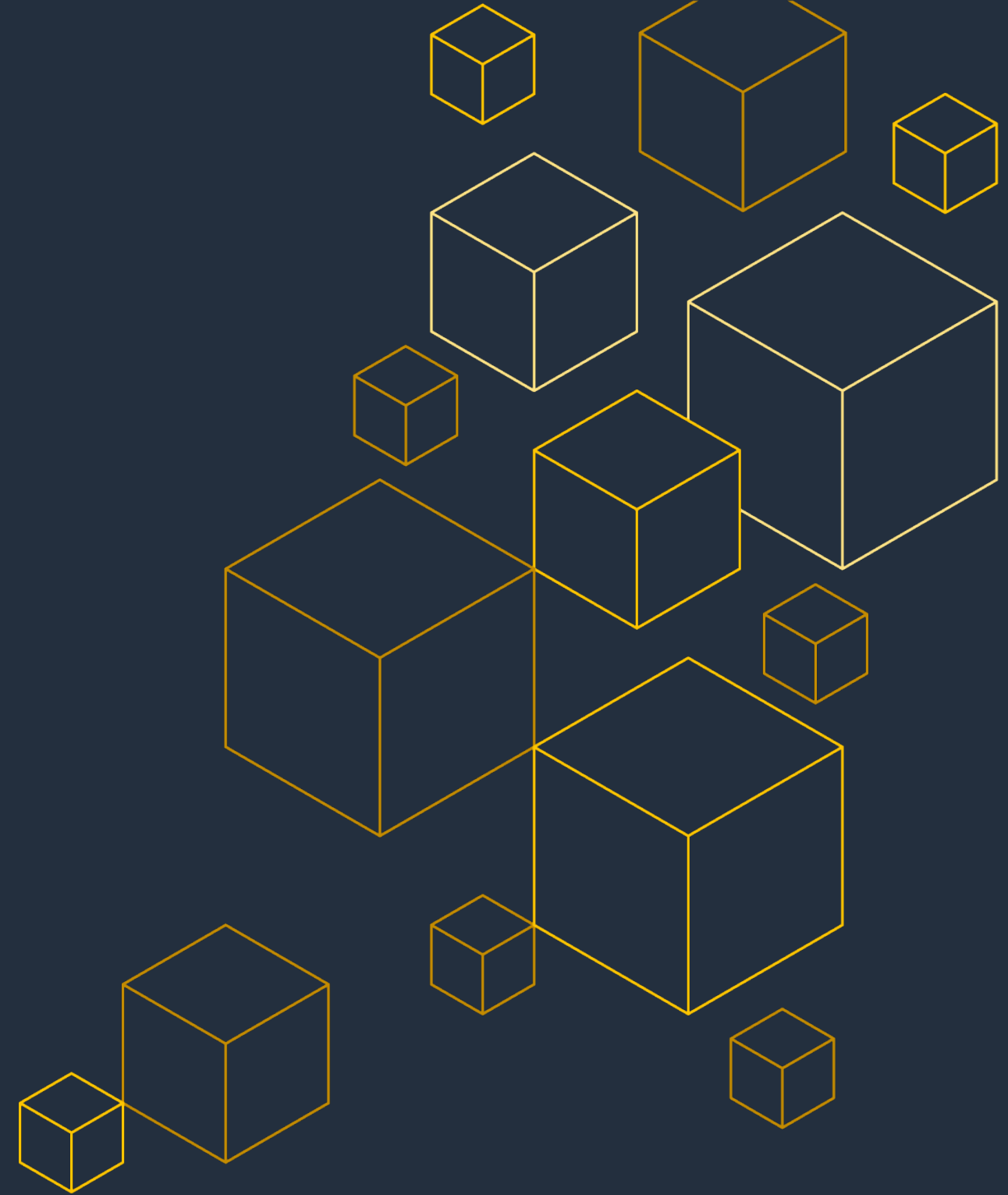


低レイテンシー



オープンソースツールの
更新やセキュリティ

Amazon EKS Anywhere



Amazon EKS Anywhere

既存のハードウェアに Kubernetes 環境 を作成し、かつ **EKS** としての一貫した運用体験を提供する



Amazon EKS で運用されているセキュアで安定したテスト済みのコンポーネントを実行



標準的に利用されているオープンソースのツールでクラスターを管理



プロダクションレディなクラスターを迅速に用意



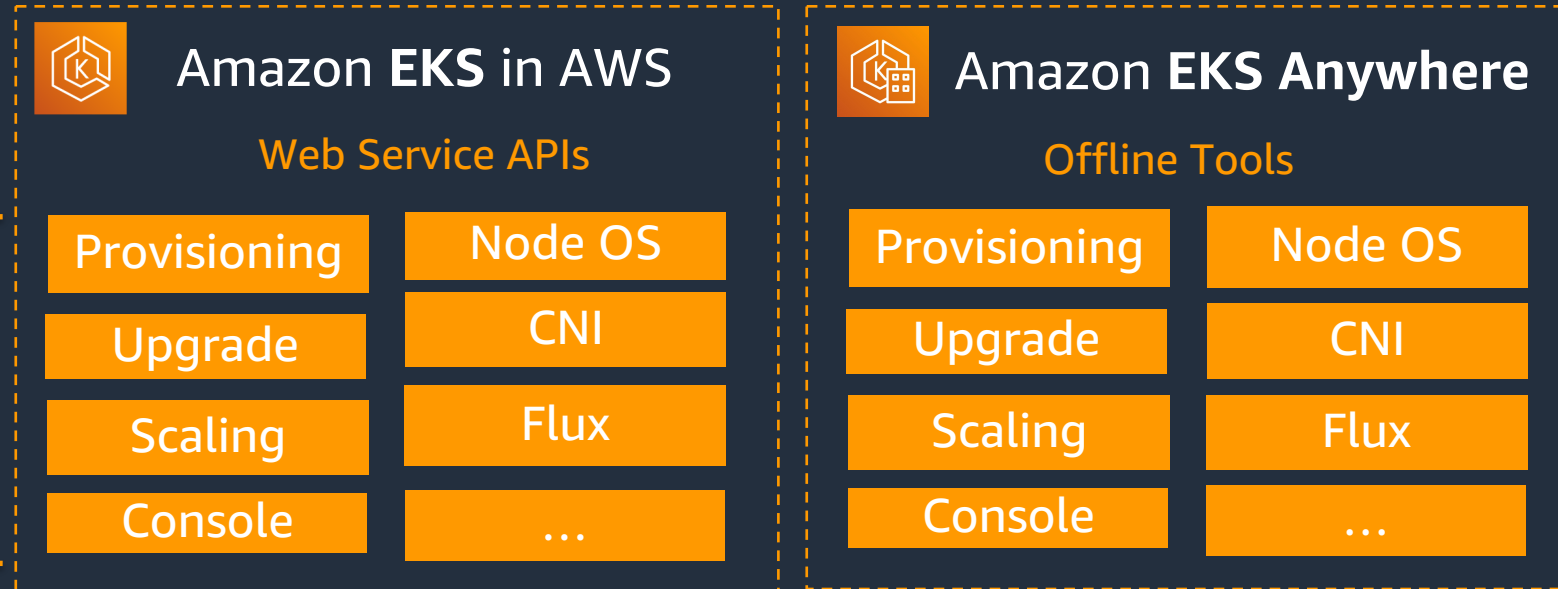
既存のハードウェアを活用

EKS Distroをオンプレミスにデプロイし、ライフサイクルを管理

EKS と EKS Distro、EKS Anywhere

AWS が運用

AWS がサポートする
API で管理

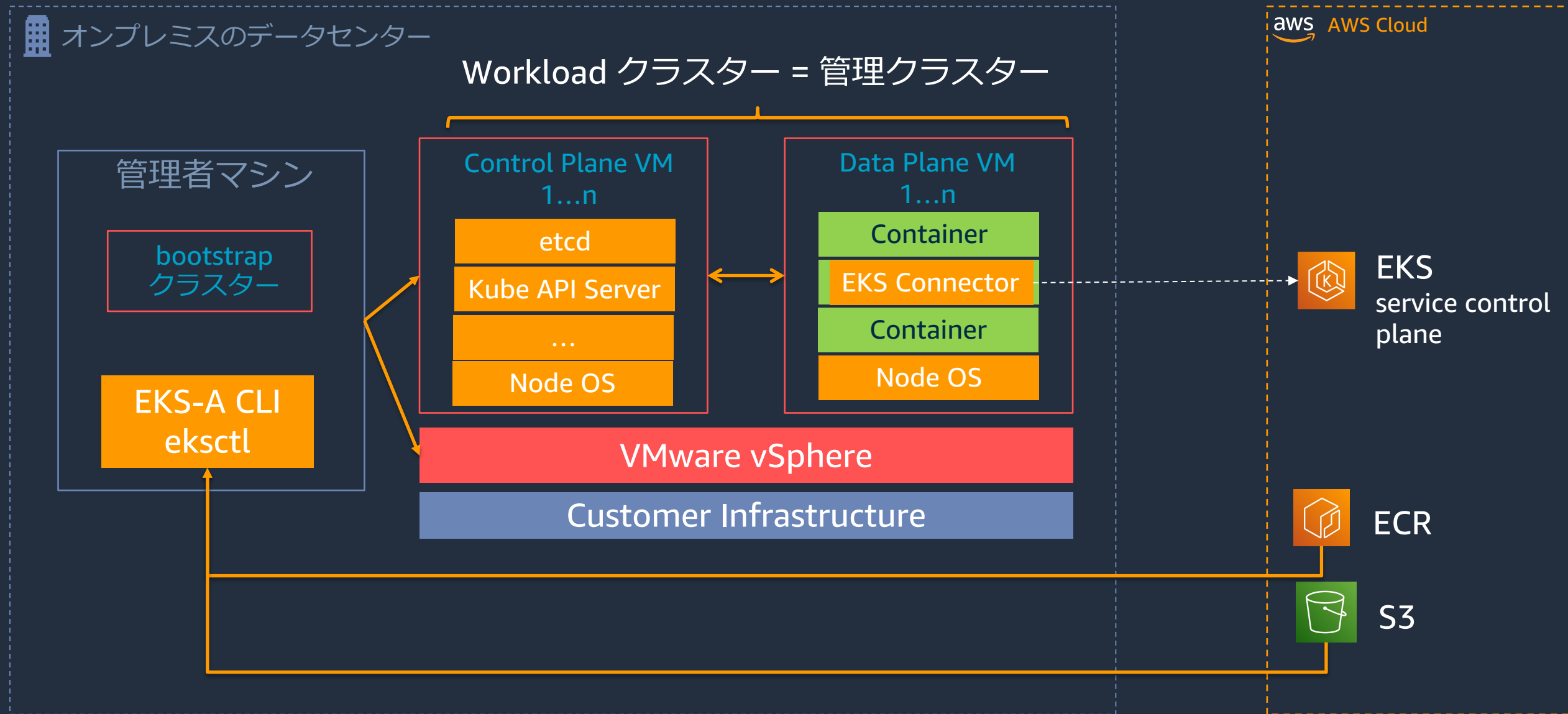


お客様が運用

AWS がサポートする
ツールで管理



Amazon EKS Anywhere のアーキテクチャ



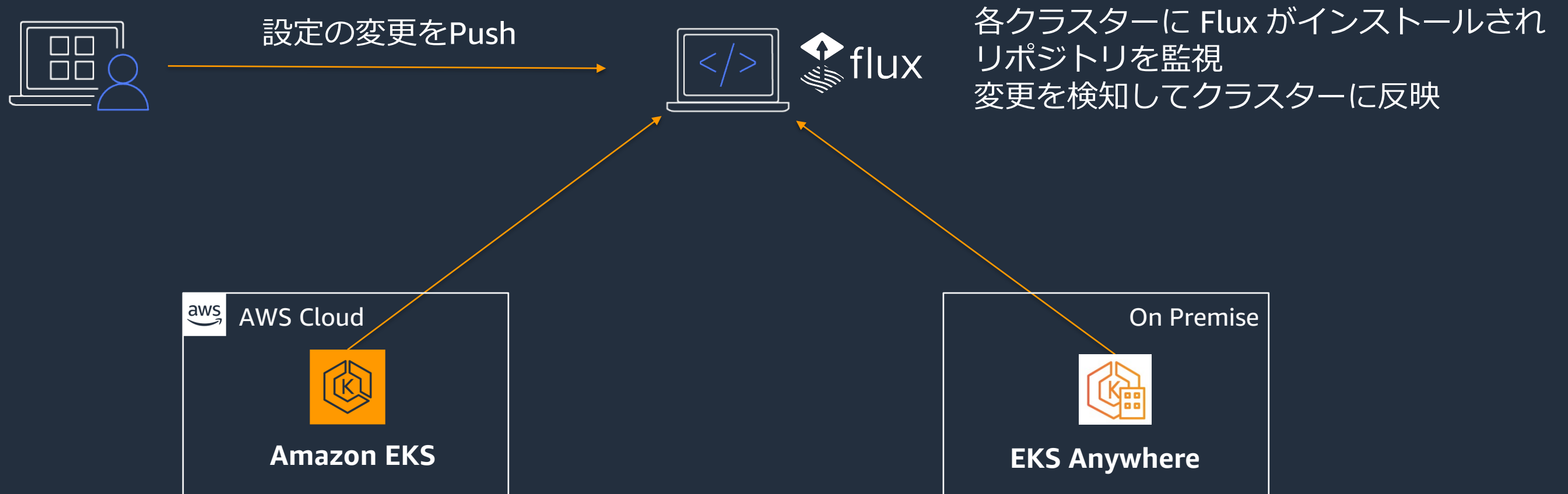
Amazon EKS Anywhere にバンドルされるもの

クラスターのライフサイクルをお客様の環境で管理するツール類

- HA Clusters
- Node OS
- eksctl
- Pod Network Policy and CNI
- OIDC support
- GitOps Tooling
- EKS Console (*optional*)
- Enterprise Support



GitOps によるクラスタの管理



<https://anywhere.eks.amazonaws.com/docs/tasks/cluster/cluster-flux/>

要件に合わせてEKSの環境を選択

AWS マネージド

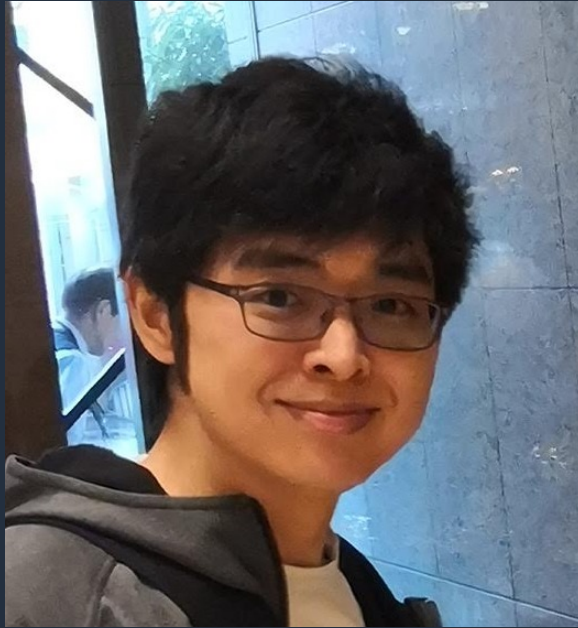
	Amazon EKS in AWS	スケール/パフォーマンス/コストの面で最適
	Amazon EKS + AWS Local Zones	フルマネージドでレイテンシーを最適化
	Amazon EKS + AWS Outposts	任意のロケーションでフルマネージドの環境
	Amazon EKS Anywhere	自身のハードウェアと AWS の管理ツール
	Amazon EKS Distro	自身のハードウェアと自身の管理ツール

セルフマネージド

Pricing

- EKS Anywhere はオープンソースで開発されており、自由にダウンロードして無料で利用可能
- オプション: SLAベースの AWS サポート
 - AWS のエンタープライズサポートが必要
 - EKS Anywhere 用のサポートサブスクリプションを別途お支払い
 - クラスタ単位の料金モデル
 - ✓ 1年 **\$24,000 / 年**
 - ✓ 3年 **\$18,000 / 年**

本セッションの担当: 林 政利



Specialist Solutions Architect, Containers

好きなサービス

Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS)
AWS Certificate Manager

